

『事例から学ぶ 「医療事故調査制度」活用BOOK』 出版記念シンポジウム

●日時● 2021.12.12(日) 13:30 ~ 16:30

●参加方法● ZOOM ミーティングによる開催

(事前登録不要、参加費無料で先着 500 名までどなた様でもご参加頂けます)

以下の URL か、右下の QR コード、または Zoom アプリからご参加下さい。

(URL) <https://us02web.zoom.us/j/84683590376>

(パスコード) 12121330 (ミーティング ID) 846 8359 0376

●講演 I ● (13:30 ~ 14:15)

『事故調査を拒否する病院の事例』

金坂康子 (患者遺族)

『予期せぬ死亡なのに進まぬ調査』

加藤高志 (弁護士)

『センター調査報告に対する評価』

宮脇正和 (医療過誤原告の会会長)

●質疑応答・討議 I ● (14:15 ~ 14:45)

●講演 II ● (14:55 ~ 15:40)

『京都大学附属病院の対応の基本』

松村由美 (京大病院医療安全管理部部長)

『制度活用状況の都道府県別格差』

増田弘治 (読売新聞記者)

『事例を元に制度に求める改善点』

岸本達司 (弁護士)

●質疑応答・討議 II ● (15:40 ~ 16:30)

「質疑応答・討議」の I と II には、講演者 6 名に加え、「事例から学ぶ『医療事故調査制度』活用 BOOK」監修者の石川寛俊 弁護士や、「患者の視点で医療安全を考える連絡協議会」代表の永井裕之氏らも参加します。総合司会は奈良県立医大講師の岡本左和子氏、討議の司会は当会代表の勝村久司が担当します。

主催:「医療情報の公開・開示を求める市民の会」

(URL)<http://hkr.o.oo7.jp/simin/> (mail)h-katsumura@nifty.com

共催:「医療過誤原告の会」「患者の視点で医療安全を考える連絡協議会」

医療事故を
再発防止に
活かしてほしい

オンライン
シンポジウム

